

次代を担う

多様な農業人材を育む

徳島県立農林水産総合技術支援センター

農業大学校

本科・研究科
学校案内

教育目標

Educational Goals

農産物の生産から加工、販売までの実践を中心とした農業教育を通じ、幅広い教養と農業及び食料に関し深い理解と熱意を持った農業及びその関連産業の担い手を育成します。



コース編成

本科には2つのコースがあり、新しい時代に適応した幅広い分野で、活躍できる人材を育成します。

農業の基本を根幹から学べる

農業生産技術コース

自営就農や農業生産法人への就職を目指す者を対象とし、高度で先進的な生産技術や農業経営技術を有し、地域農業を先導できる人材を育成します。



食品産業分野での技術革新を担う人材創出

6次産業ビジネスコース

農業・食品関連企業への就職を目指す者を対象とし、食品産業分野への参入及び地域農業社会での多様な役割を担うことのできる人材を育成します。また「六次産業化研究施設」を活用し、新たなオリジナル商品の開発に取り組みます。

POINT
01

少人数クラスで課題解決型学習を中心とした実践教育(実習時間約50%)

POINT
02

農業経営や農業分野での仕事に必要な様々な免許・資格の取得

POINT
03

インターンシップ・マンツーマンの進路別指導
■自営就農、雇用就農、就職、進学



▲ フォークリフト



▲ 無人航空機(ドローン)

POINT
04

充実した施設を活用した先端技術の習得

■スマート農業技術(ドローン、環境抑制システム等)

日本農業技術検定

土壤医検定

一般毒劇物取扱者資格

危険物取扱者資格

大型特殊免許(農耕用限定)

けん引免許(農耕用限定)

フォークリフト運転技能講習

家畜商免許

家畜人工授精師免許

狩猟免許

無人航空機操縦技能資格

パソコン検定

食の6次産業化プロデューサー
(国家戦略認定レベル2)

TOEIC

教育方針

Educational Policy

本物にこだわり、実践に挑むことで得られる学びがここにあります。

■ 自主性の育成



自ら課題を設定し、自主的にプロジェクト課題解決学習に取り組むことで、意欲と実行力のある人材を育成します。

■ 仲間づくり



互いに協力しあいながら実習や集団活動等に取り組むことで、自律と協調の精神を養います。

■ 実践学習



講義、演習で得た知識を活かし、実践学習へ発展させることで、問題解決能力を養成します。

■ マンツーマン指導



個性や進路希望等をふまえた濃密な指導により、学生個々の目標実現を支援します。

■ コーディネーターの養成



地域社会・経済や人々の考え方、技術を結びつけることで、地域振興や新たな取り組みにつなげるコーディネート能力を養成します。

■ 地域農業等への寄与



先進農家、関係機関や団体及び農業・食品関連産業等との連携を深め、総合的な指導体制により、幅広い視野と経営能力を有する地域産業や農村生活のリーダーを養成します。

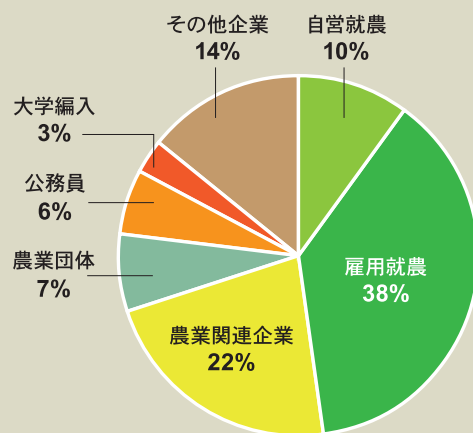
学生による模擬会社 「徳島農大そらそうじゃ」で 楽しみながら学ぶ！

本校では「経営感覚」を体験的に学ぶことを目的として、模擬会社「徳島農大そらそうじゃ」を設立し、学生自らその運営に当たっています。商品企画やイベント等での販売活動を通じて消費者ニーズや経営感覚を体得します。



DATA BOX

卒業生の進路



(令和元年度～令和5年度：卒業時の進路状況)

個性とニーズに合わせた 的確な進路指導

進路指導については、農業者の育成を中心としつつ、多様化する学生の進路希望に対応すべく、定期的な進路・資格の希望調査を実施するとともに、個人面談や家族を交えた面談を行い、その学生にあった将来設計を指導しています。

授業では、ICT、HACCP、デザインなどに対応した科目についても開設し、個別指導では、履歴書の書き方や模擬面接を実施するなど、個々のニーズに基づいた就職向けのマンツーマン指導を充実させています。

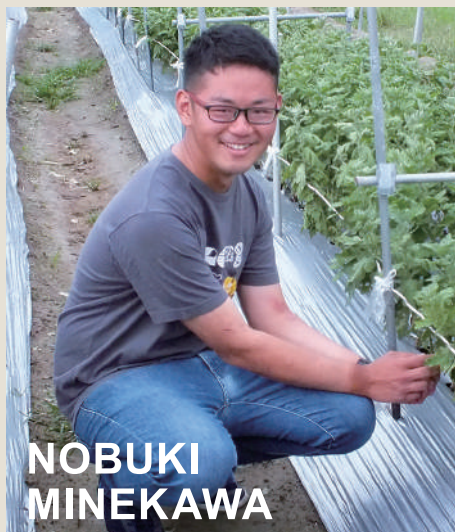
4年制大学への編入支援



本科は専修学校専門課程に位置づけられており、4年制大学への編入進学が拓かれています。希望者は進学英語・生物・化学を履修することができ、また、小論文や模擬面接の個人指導を実施しており、多くの先輩が編入進学を果たしています。

VOICE & VOICE & VOICE

TOKUSHIMA COLLEGE OF AGRICULTURE



**NOBUKI
MINEKAWA**

峯川 信喜さん

2018年 農業大学校地域資源活用コース卒業
2019年 株式会社徳島ハーベスト入社
2023年 フルーツガーデンやまがた入社
2024年 独立自営に向けて準備中

農大生活の集大成!

卒業プロジェクトでは、ブロッコリー栽培に取り組み、先生方が熱心に指導してくださったこともあり、徳島県代表に選ばれ、中四国大会で発表することができました。文章に書いてまとめることが難しかったり、人前で発表するのが緊張したり、苦労もありましたが、良い経験になりました!



充実したキャンパスライフ

実習ではクラスメイトと一緒に協力し合うことが多いので、友人との仲を深めることができました。また、体験実習でお世話になった農家の方とは、卒業した今でも連絡をとっていて、農業技術のことを何でも相談できる人に出会うことができました。周りの方のおかげで充実したキャンパスライフを送ることができ、今も「農業が好き、楽しい」という気持ちは変わりません。

ブロッコリー栽培で独立自営就農

卒業プロジェクトや就農した農業法人でブロッコリー栽培技術を身につけ、現在はブロッコリーを中心とした独立自営就農を目指して準備中です。困ったことがあれば、学生時代の同期やお世話になった農家の方に相談でき、農大でのつながりが今も生きています。

農業が好きな人、興味のある人歓迎!

農大の先生はとても優しく、困ったときは夜遅くまでサポートしてくださり、就農後も気にかけてくださっています。また、様々な資格が取得できることも農大の強みです。農業が好きな人、興味がある人、農業大学校で学んでみませんか?



**YUMI
KODA**

幸田 優美さん

2019年 農業大学校地域資源活用コース卒業
2019年 海外留学 (アメリカ)
2022年 株式会社日和ファーム入社

絆を深めた農大祭!

秋に開催される農大祭では、クラスメイトと模擬店を出展し、お米とパントリーを販売しました。みんなで協力し合って、準備をする時間がとても楽しく、男女共に、仲の良いクラスになっていきました。卒業した今でも連絡を取り合う仲間です。



視野を広げた海外留学

農大で農業の楽しさを知ることができ、卒業後は知識をさらに広げるため、アメリカハワイ島に1年半留学しました。現地農場では日本の野菜を生産し、アメリカの大規模農業や生産技術を学びました。

自然農法のお米の栽培に従事

現在は、農業法人に就職し、自然農法のお米を栽培しています。自然農法も水稲も、今までやったことがなかったので、覚えることも多いですが、常に新しいことに挑戦する姿勢を持ち続け、今後も成長していきたいです。

難しいことは考えずに何にでも挑戦

私は農家出身ではなく、食品の材料である農産物を一から作ってみたいという気持ちで農大に入学しました。最初は誰でも不安や悩みはあると思います。そんな時は、先生方が親身になって話を聞いてくださり、解決してくれます。そして、多くの仲間がいます。難しいことは考えずに、ぜひ、何でもやりたいと思ったことに挑戦してみてください!



**RYOTARO
MUKAI**

向 椋太郎さん

2015年 農業大学校アグリビジネスコース卒業
2018年 愛媛大学農学部生物資源学科卒業
2019年 徳島県庁農業職入庁
2021年 徳島県立農林水産総合技術支援センター資源環境研究課
2023年 鳥獣対策・ふるさと創造課 (現:鳥獣対策・里山振興課)

実践販売を通じ経営感覚を学ぶ

在学中、農業大学校の模擬会社「そらそうじゃ」の代表を務めていました。私たちが企画、生産した農産物や加工品を県内外のマルシェに出店し、販売することで、消費者のニーズや経営の難しさなどを学ぶ貴重な体験となりました。また、仲間と同じ目標に向かって活動することができ、とても楽しい時間でした。



4年制大学へ編入合格!

農大で農業らしい実践的なことを学んでから、大学に入って、より理解を深めたいと思い、進学しました。実際、農業の現場を知っていたので、広い視野で学ぶことができ、有意義な大学生活を送れました。

地域の農業振興のために奮闘する日々

徳島県庁農業職へ入庁して2年間は農業技術普及員として、果樹農家や青年農業者を訪問し、技術支援をしました。その後、研究機関において果樹の虫害担当として、発生予察や試験研究に取り組みました。現在は、指定管理鳥獣の捕獲等に関する業務等に従事しています。

「やりたいこと」と「熱意」があれば

自分がやりたいことは、何でもやらせてくれる学校です。「やりたいこと」と「熱意」を持って、入学してください。



徳島県立農林水産総合技術支援センター

〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井1660

TEL: 088-674-1026 FAX: 088-674-8129

農業大学校

徳島農大



<https://www.tonodai.ac.jp/>